

報告事項エ

県立学校における平成26年度使用教科用図書採択の変更について

県立学校における平成26年度使用教科用図書採択の変更について、別添のとおり報告します。

平成26年2月4日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

県立学校における平成26年度使用教科用図書の採択の変更について

高等学校課

1 経緯

県立学校における平成26年度使用教科用図書の採択については、平成25年9月定例教育委員会に報告したところであるが、皆生養護学校においては病弱教育部門高等部新設に向け、平成26年度入学生の教育課程の検討を進めた結果、教科用図書の採択の変更が必要となった。

なお、変更後の採択教科用図書は第2学年の使用教科用図書として採択済みである。

2 変更前の採択教科用図書

種目	発行者		教科書		書名	使用学年
	番号	略称	記号	番号		
世界史A	2	東書	世A	301	世界史A	第1学年

3 変更後の採択教科用図書

種目	発行者		教科書		書名	使用学年
	番号	略称	記号	番号		
地理A	2	東書	地A	301	地理A	第1学年 第2学年

県立高等学校における平成26年度使用教科書の選定方針及び採択について

1 選定方針

(1) 県立高等学校（県立特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）の教科書の選定については、生徒の能力・適性に応じ、平成26年度に実施する教育課程において開設する教科・科目において使用するものを選定することとし、特に次の点に留意するものとする。

- ア 本文、図表、表現等が正確であり、誤記、誤植又は脱字がない。
- イ 内容が教科・科目の目標に適合している。
- ウ 程度が生徒の実態に即し、適当である。
- エ 内容が系統的であり、配列や関連付けも適切で分量もよい。
- オ 印刷が鮮明であり、造本も適切で体裁もよい。
- カ 学習指導上便利のように工夫してある。
- キ 教科の目標を達成するよう、適切な創意・工夫がなされている。

(2) 教科書の選定に当たっては、公正確保に努めるとともに、適正を期するため、次の資料等を有効に活用する。

- ア 教科書編集趣意書（文部科学省編）
- イ 教科書展示会（開催期間：平成25年6月7日（金）～7月4日（木））

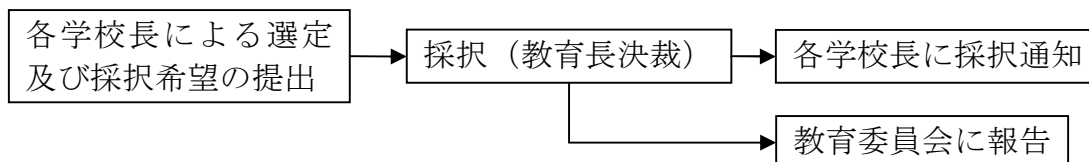
東・中・西部3地区の5会場

- ・ 県教育センター
- ・ 鳥取市立中央図書館
- ・ 倉吉市立図書館
- ・ 西部総合事務所
- ・ 境港市民図書館

2 採択

県立高等学校においては、各学校の選定した教科書の採択希望に基づき、県教育委員会が採択を行う。

県立高等学校における平成26年度使用教科書採択の仕組みについて



(参考)

○学校教育法 第三十四条第一項

小学校においては、文部科学大臣の検定を経た教科用図書又は文部科学省が著作の名義を有する教科用図書を使用しなければならない。(中学校、高等学校、特別支援学校も準用)

○学校教育法 附則第九条

高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校並びに特別支援学級においては、当分の間、第三十四条第一項（第四十九条、第六十二条、第七十条第一項及び第八十二条において準用する場合を含む。）の規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、第三十四条第一項に規定する教科用図書以外の教科用図書を使用することができる。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第二十三条

教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

六 教科書その他の教材の取扱いに関すること。

○鳥取県立学校管理規則 第12条

学校は、教育委員会が採択した教科書を使用しなければならない。

○教育長に対する事務の委任等に関する規則 第2条

教育委員会は、次の各号に掲げる事務を除き、その権限に属する事務を教育長に委任する。

※ 各号の中に県立高等学校（県立特別支援学校の高等部を含む。）の教科書採択に関する事務は含まれない→教育長に委任